

ヒアリングを踏まえた修正案

● 団体概要書等の様式

- ・夢プログラムの団体概要書を廃止、企画・報告書に団体概要記載欄を追加し**様式を1つ**にまとめる。
- ・様式は毎年度提出することとする。
- ・前回提案では個人の夢プロ登録を可としていたが、有事の際に連絡が取れない等夢プログラムの運営に支障をきたす可能性があることから、**グループのみ登録可へ修正**する。

● 夢プログラムの活動

- ・屋台村は**希望するグループのみの参加**とする。
- ・春のフェスティバルに屋台村で報告している内容と同程度の**チラシやポスターを掲示**し、来園者へPRする。
(外部向けの屋台村)
- ・フェスティバル時にアンケートを実施し、ワークショップ等のニーズを把握する。一定のニーズがあれば、**夢プロクルーによるワークショップ相談会**を開催。

ありまふじ夢プログラムのご案内

◆ありまふじ夢プログラムとは

有馬富士公園を舞台に、住民グループなどが主体（ホスト）となって、来園者（ゲスト）に対して継続的にワークショップやイベントを開催する（イベント系）他、生き物の調査・研究（調査研究系）や維持管理活動（維持管理系）など多様な活動・交流ができる仕組みです。

夢プログラム活動例：子育て応援イベント、水辺の生態調査、お米作り、間伐採のチップ化等

イベント系写真

調査研究系写真

維持管理系写真

◆メリット

夢プログラムは、「有馬富士公園運営協議会※」の共催プログラムとして実施して頂きます（同協議会事務局（有馬富士公園パークセンター）が随時審査します）。

同協議会の共催プログラムとして実施することにより、以下のメリットを受けることができます。

- ・有馬富士公園のパークセンター・有馬富士自然学習センター・三田市共生センターの施設（部屋）・芝生広場や備品が無料で利用可能
- ・公園管理事務所によるイベント等実施にかかる助言
- ・他の夢プログラム参加グループとの交流
- ・「広報さんだ（市広報誌 毎月1日発行）」「イベント情報ありまふじ（公園広報誌 毎月1日発行）」「公園公式ホームページ」で広報可能

※有馬富士公園運営協議会とは、住民委員、兵庫県、人と自然の博物館、指定管理者（兵庫県園芸・公園協会）、三田市等、本公園の運営の関係者で構成し、本公園の運営のあり方を協議・助言することができる機関です。

◆対 象

自らプログラムを企画し、責任をもって継続的に実施できる**グループ**

◆条 件

- ① 夢プログラムの趣旨に賛同し、活動すること
- ② 営利を目的としないこと
- ③ 有馬富士公園で実施すること
- ④ 広く県民・市民を対象に活動すること
- ⑤ 所定の夢プログラム登録申請書・企画書・報告書を提出すること
- ⑥ ゲスト（来園者・来館者）に対して、ホストとして、イベント等を実施すること
- ⑦ 自律した活動ができること
 - 自律した活動とは～
 - ・自分たちで企画・運営ができること
 - ・自分たちで運営の予算・財源をまかなうこと

※原則2年以上活動が見られない場合は、再度夢プログラム参加申込書をいただきます。

◆その他

交通費・保険料、イベント経費等は各自で負担（ボランティア保険は各自で加入することをお勧めします）。



◆別紙資料◆

- | | |
|----------------------------|------------------|
| ①施設利用案内（表）・施設使用許可申請書見本（裏） | ③備品一覧 |
| ②コピー機の使い方（表）・木工室の使用について（裏） | ⑥ボランティア活動等行事用保険 |
| ④貸出申込書 | ⑤ボランティア・市民活動災害保険 |

◆注意事項◆

- ・施設の利用と、貸出資材については別紙 ①～④ のとおりです。準備やイベント当日に施設・備品を利用の場合、利用届出にて各施設へ事前に申請してください。申請用紙は園内の各施設で様式が異なります。
- ・活動時は名札や各グループユニフォームなどの着用を推奨します。一般の方が出入不可な場所に入場する際の目印となります。

イベント系夢プログラムの実施当日について

- ・夢プログラムグループは主催者（ホスト）になります。よって、実施されるプログラムは、協議会との連携・共催事業（公的なプログラム）になり、広く来園者・来館者のために実施するプログラムになります。
- ・たくさんの人に「また来てみたいな」と思ってもらえるよう、力を合わせてがんばりましょう。
- ・プログラム当日は名札を着用し、主催者であることを明確にしてください。他のプログラムや、公園の施設や運営をよく理解し、来場者・来館者に「親切に」対応してください。

●有料プログラムについて

釣り銭・参加者名簿・領収証を事前に用意しておきましょう。

●ゴミについて

園内にゴミ箱はありません。主催者・参加者がゴミを持ち帰ってください。

●雨天・荒天時について

雨天・荒天時のプログラムの中止・変更は各グループが決定することとし、パークセンターへ連絡してください。

●放送設備について

園内放送が必要な場合は、放送設備のあるパークセンター・自然学習センターにご相談ください。

●危機管理について ⇒緊急の場合：（パークセンター）079-562-3040

トラブルや事故にあった場合、目撃した場合は責任をもって対処し（パークセンター・自然学習センターに救急車の要請を依頼する、自分たちが救急車を呼ぶなど）を行い、その後、速やかに公園管理事務所に連絡して下さい。（緊急車両の誘導は基本的に公園職員が行います）

夢プログラム 実施・運営 の 当日フロー

- | | | |
|----------------|-------|--|
| ①来 園 | ————— | 駐車場は一般の駐車場を使用してください（職員駐車場は職員専用です。資材搬入時については一時的に停車可能です）。実施場所への搬入についてはご相談ください。貸出資材や車止めボールのカギなどを渡します。 |
| ②準 備 | ————— | 会場の準備、参加者の受付など |
| ③実 施 | ————— | 安全第一でお願いします |
| ④片付け | ————— | 会場の片付け・掃除 |
| ⑤資材の返却 | ————— | 雑巾など手入れできるような物の持参（屋外や雨天時の実施・使用） |
| ⑥報 告（実施後の振り返り） | ————— | パークセンターに終了の報告、活動記録簿へ記帳。 |

◆申込方法

下記の申込先で、概要説明を受けた後、夢プログラム登録申請書・企画報告書をご提出下さい。

（持参・郵送・ファックス・メール可）

◆申込先・問合せ先

〒669-1313 三田市福島 1091-2

有馬富士公園パークセンター内 有馬富士公園 運営協議会事務局

（担当：企画担当）

イベント系夢プログラム 企画・報告書

企 画 欄	
夢プログラム名：	
グループ名：	
担当者名：	TEL/FAX：() -
住所： 〒	
e-mail：	その他：
実施日時： 年 月 日() : ～ : (受付時間：)	
実施場所： (受付場所：)	
広報用呼びかけ文・内容（○字程度） 	
対象：	
定員：	
参加費： 無 / 有 (につき 円)	
雨天時の対応： 中止 / 小雨決行 / 実施	
事前申込： 無 / 有 ・ 申込方法： ・ 申込先： ・ 申込×切日：	
備考（持ち物など）：	
問い合わせ先：	
広報さんだ （毎月 1 日発行）掲載希望月： 月号（原稿×切 3 ヶ月前）	
イベント情報（毎月 1 日発行）掲載希望月： 月号（原稿×切 2 ヶ月前）	

グループ 概 要	
グループ名：	
グループ代表者名：	TEL/FAX：() -
グループ（事務局）住所： 〒	
e-mail：	その他：

実 施 報 告 欄			
参 加 者 数：	人	（うち中学生以下＝	人・高校生以上 人）
準 備 日 数：	日	（事前申込の場合応募者数 人）	
スタッフ数：	当日	人	準備にかかった累計人数 のべ 人
協議会への意見・要望など			
その他			

注 意 事 項
・企画欄に書かれた内容は広報の原稿に使用します。また、提出された書類は一般に公開することがあります。ご了承下さい。 ・イベントなどを広報する場合、夢プログラムを実施する月の約3ヵ月前までに企画書を提出ください。広報媒体は「イベント情報ありまふじ（公園広報誌 毎月1日発行）」「広報さんだ（市広報誌 毎月1日発行）」「公園公式ホームページ」になります。 ・チラシ（ポスター）を各施設・掲示版に掲出可能です。 ・主催者がコピー用紙持参したうえで、イベントやワークショップ等のチラシ配布のためにコピー機が使用可能です。 ・チラシには、必ず下記の文字を記載してください 「共催：有馬富士公園運営協議会」「夢プログラム認証イベント」

調査研究系 夢プログラム 企画・報告書

企 画 欄	
夢プログラム名：	
グループ名：	
担当者名：	TEL/FAX：() -
住所： 〒	
e-mail：	その他：
実施期間： 年 月 日 () ～ 年 月 日 ()	時間：
主な調査場所：	
調査・研究の概要	
具体的な調査・研究内容：	

団 体 概 要	
グループ名：	
グループ代表者名：	TEL/FAX：() -
グループ（事務局）住所： 〒	
e-mail：	その他：

実 施 報 告 欄	
活 動 日 数：のべ 日	スタッフ累計人数： 人
調査研究結果の概要	
成果発表について（年度末に自然学習センター企画展示室において展示） 展示制作者： ※1グループにつき約縦2m×横1mのパネルを貸出	
その他（協議会への意見・要望など自由に書いてください）	

注 意 事 項
・企画欄に書かれた内容は広報の原稿に使用します。また、提出された書類は一般に公開することがあります。ご了承下さい。 ・イベントなどを広報する場合、夢プログラムを実施する月の<u>約3ヵ月前まで</u>に企画書を提出ください。広報媒体は「イベント情報ありまふじ（公園広報誌 毎月1日発行）」「広報さんだ（市広報誌 毎月1日発行）」「公園公式ホームページ」になります。 ・チラシ（ポスター）を各施設・掲示版に掲出可能です。 ・主催者がコピー用紙持参したうえで、イベントやワークショップ等のチラシ配布のためにコピー機が使用可能です。 ・チラシには、必ず下記の文字を記載してください 「共催：有馬富士公園運営協議会」「夢プログラム認証イベント」

維持管理系 夢プログラム 企画・報告書

企 画 欄	
夢プログラム名：	
グループ名：	
担当者名：	TEL/FAX：() -
住所： 〒	
e-mail：	その他：
実施期間： 年 月 日 () ～ 年 月 日 ()	時間：
活動場所：	
活動の概要	
具体的な活動内容：	

グループ 概 要	
グループ名：	
グループ代表者名：	TEL/FAX：() -
グループ（事務局）住所： 〒	
e-mail：	その他：

実 施 報 告 欄	
活 動 日 数：のべ 日	スタッフ累計人数： 人
活動結果の概要	
成果発表について（年度末に自然学習センター企画展示室において展示） 展示制作者： ※1グループにつき約縦2m×横1mのパネルを貸出	
その他（協議会への意見・要望など自由に書いてください）	

注 意 事 項
・企画欄に書かれた内容は広報の原稿に使用します。また、提出された書類は一般に公開することがあります。ご了承下さい。 ・イベントなどを広報する場合、夢プログラムを実施する月の<u>約3ヵ月前まで</u>に企画書を提出ください。広報媒体は「イベント情報ありまふじ（公園広報誌 毎月1日発行）」「広報さんだ（市広報誌 毎月1日発行）」「公園公式ホームページ」になります。 ・チラシ（ポスター）を各施設・掲示版に掲出可能です。 ・主催者がコピー用紙持参したうえで、イベントやワークショップ等のチラシ配布ためにコピー機が使用可能です。 ・チラシには、必ず下記の文字を記載してください 「共催：有馬富士公園運営協議会」「夢プログラム認証イベント」

有馬富士公園 あそびの王国の猛暑対策及び休憩施設について

■背景・目的

近年、夏季の猛暑のみならず、高温な時期が長期化するなど、公園利用者、特に暑さを忘れ夢中になって遊ぶ子どもと子どもを見守る親への熱中症対策が課題となってきている。
また親にとっては、子どもをゆったりと見守れる空間が求められている。

■ニーズ調査の実施

日時：令和5年10月22日（日）

場所：遊びの王国、パークセンター

方法：聞き取り調査（暑さ対策、公園のニーズ）

意見：10名

〈主な意見（日陰、休憩施設について）〉

- ・木陰があるとよい（お年寄りがパーゴラや日陰で休んでいる、屋根付きの休憩所があると便利）。
- ・ベンチを増やしてほしい（プラスチックベンチは夏場熱い、ご飯を食べるときに使う）という意見が多数。
- ・ポップアップテントはみんな持ってきている。
- ・冬には日向が必要。

〈ヒアリング時の鬼が富士頂上からみたあそびの王国の状況〉



鬼が富士 西側



鬼が富士 東側



鬼が富士 北側

■今後の方針(案)

ニーズ調査の結果も踏まえ、令和7年度に、あそびの王国に日陰やベンチを整備・拡充する。

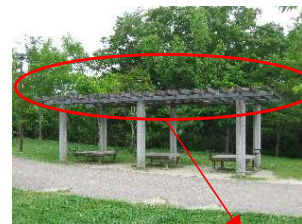
以下のような案を検討しているが、ご意見をいただきたい。

〈ベンチ〉

- ・可動式テーブルベンチを撤去・新設
- ・屋根付きベンチの設置
(子どもの走る場所やポップアップテントの場所は空ける)

〈日除け対策〉

- ・既存パーゴラの日陰強化(可動式の屋根)

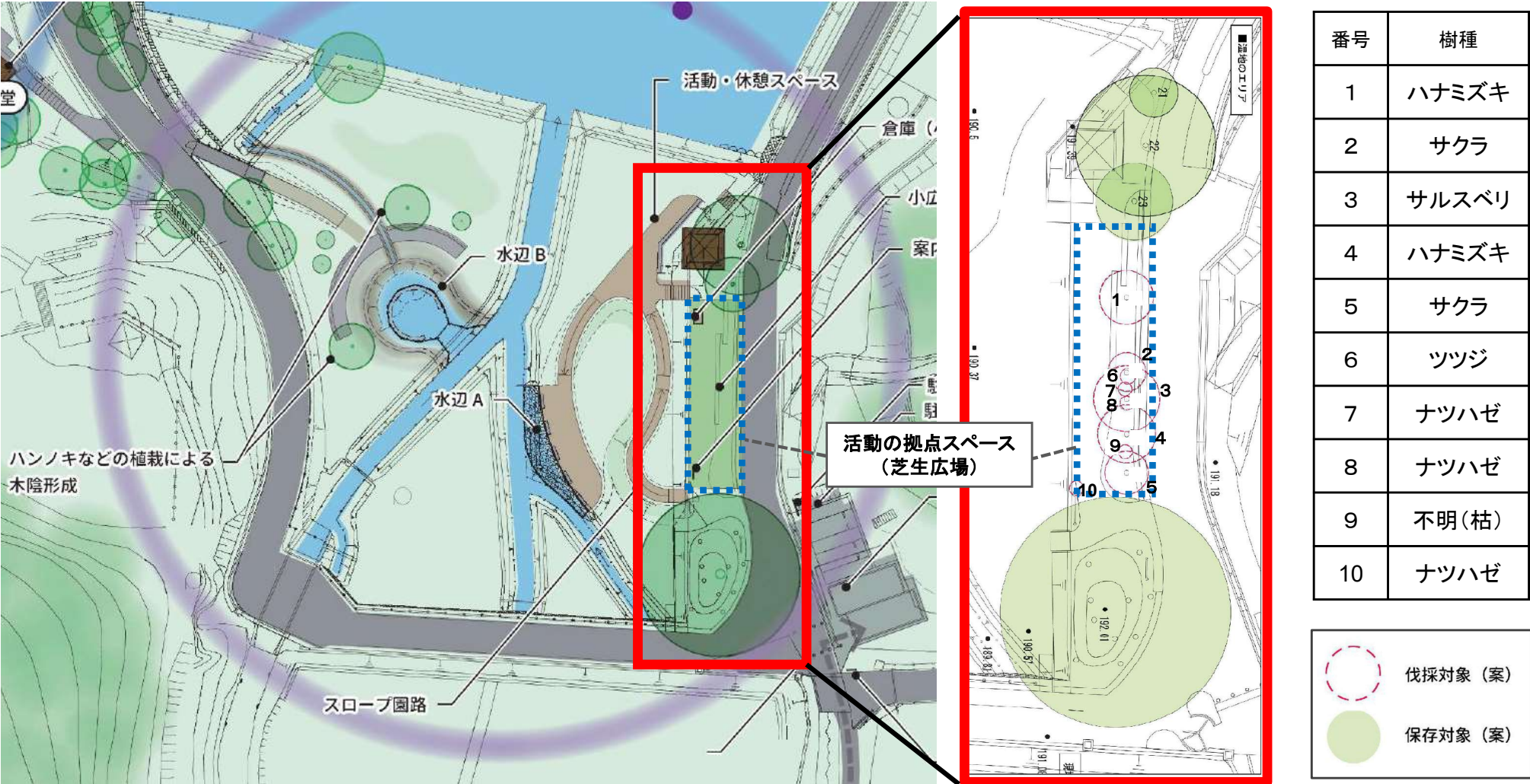


〈日除け対策 例〉
すだれ利用して日除け対策実施。すぐに劣化するため、強化する。



親水施設改修工事(その2)

有馬富士公園花菖蒲園を、より利用しやすい施設にするための改修工事を実施します。
改修工事では、子供や障害のある人も安心して水辺や生き物に触れ合える親水空間や、活動の拠点となる芝生の広場などを整備します。
工事に伴い、芝生広場のスペースを確保するため下図の通り伐採を予定しています。
安全第一で作業を進めて参りますので、何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



令和7年度 工事予定のお知らせ (2/2)

林の生態園木製階段更新

破損のため長らく通行止めにしておりました、林の生態園の木製階段を更新します。

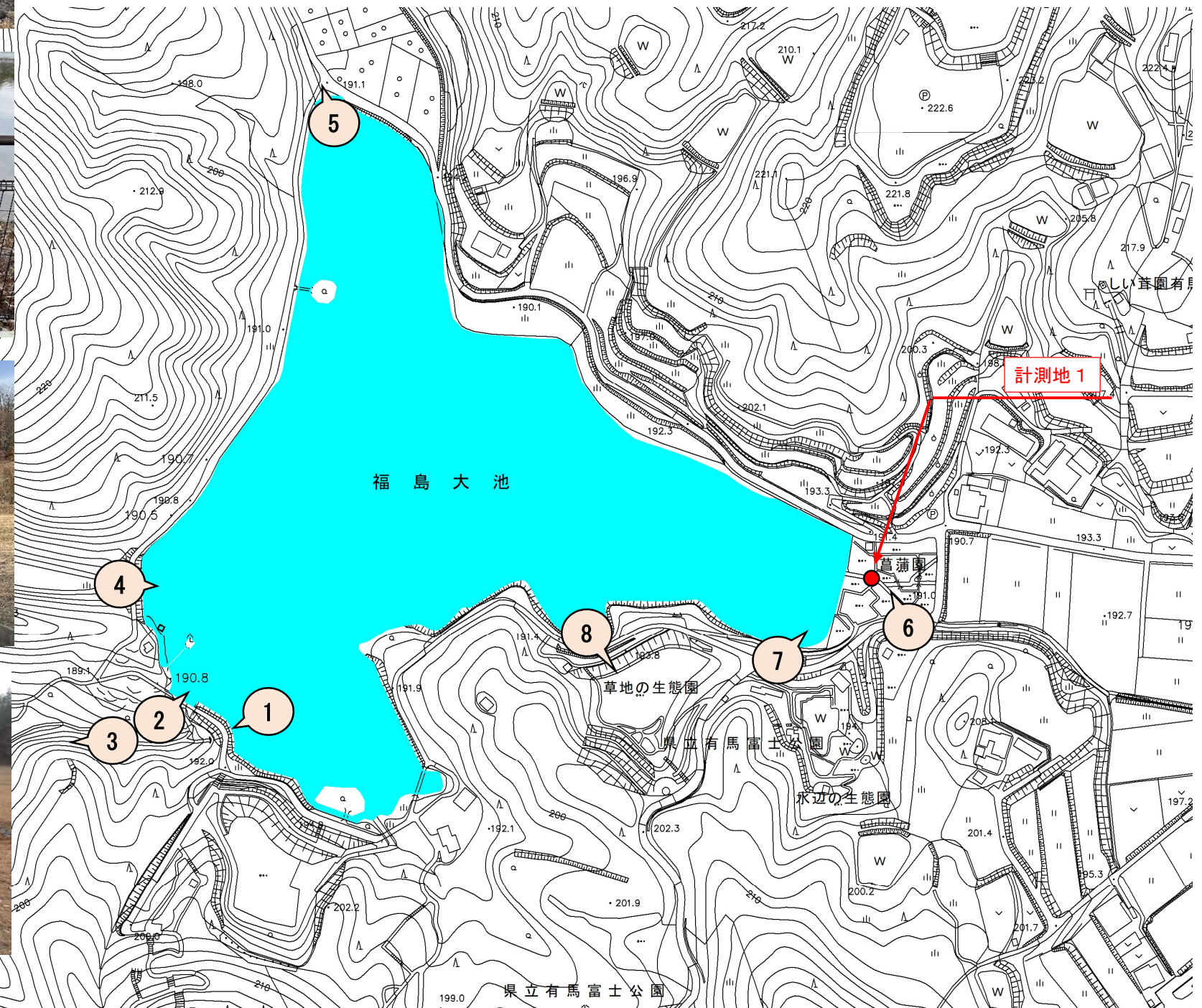
同じ位置での更新となりますので樹木伐採の予定はありません。

安全第一で作業を進めて参りますので、何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



1. 現況状況

洪水吐や取水施設の状況確認結果を示しています



- ・ 2箇所取水施設がある（写真①,写真④）。
- ・ 洪水吐の上に橋梁があり、中央部分が低くなっている（写真②）。
- ・ 洪水吐下流は露岩しており、武庫川へと流下する（写真③）。
- ・ 池の北側および東側から流入がある（写真⑤,写真⑥）。
- ・ 池の南側に2箇所の調整池がある（写真⑧）。

福島大池の治水活用(イメージ写真)



福島大池 貯水状況

1 満水時



2011 年 9 月 23 日 （ 満水位 ）

2 水位低下時

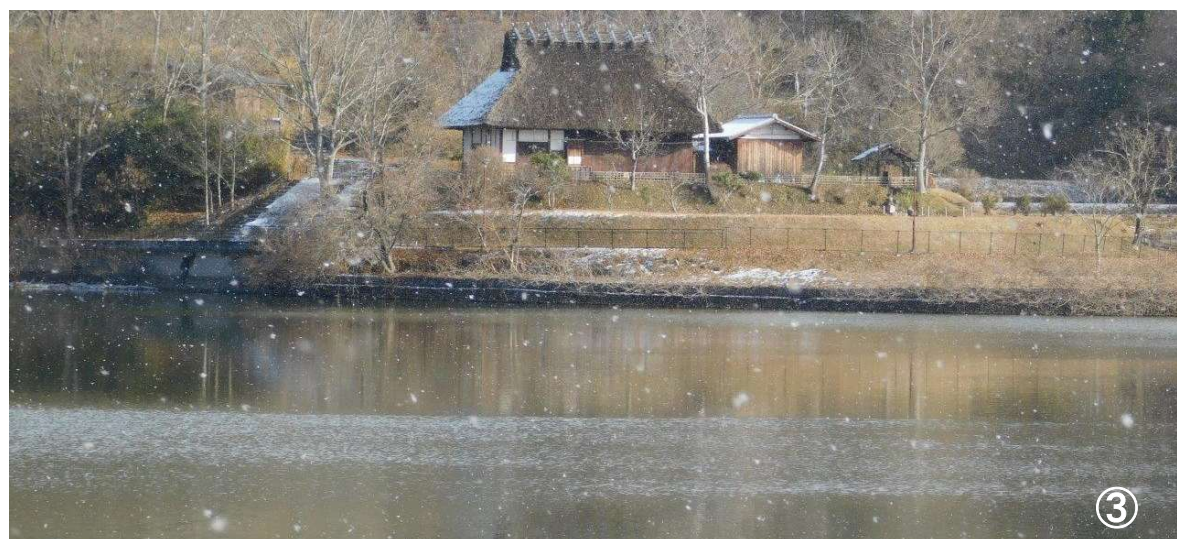


① 2022 年 1 月 1 日 （ 約 60 cm水位低下 ）

2 水位低下時



② 2022 年 1 月 1 日 （ 約 60 cm水位低下 ）



③ 2022 年 1 月 1 日 （ 約 60 cm水位低下 ）



④ 2022 年 1 月 1 日 （ 約 60 cm水位低下 ）